

N1 第 58 课 古典文学谈礼仪(单词)

せいしょうなごんゆる
清少納言が許せないのは、教養を備えているべき人間が言葉のミスをするときです。たとえば、
しょようんけいごつかかた
使用人が敬語の使い方をよく心得ていないで、自分のご主人に対しきちんと敬語を使ってしゃべれない時とか、逆に自分の行為に尊敬語をつけたりしているのを聞くと、清少納言は腹を立てます。

また、偉い人が傍にいらっしゃるのに、同僚同士が打ち解けた仲間言葉で「まろ(あたし)」なんて言ってしゃべり合っているのも戒めています。人に聞かれても聞き苦しくない会話をすべきだと考えているのです。「相手や場面や効果を考えて、言葉というものは使うものです」。これが、清少納言の主張。それは、古今東西普遍的な言葉の運用の仕方です。一千年も昔の清少納言がきっちりそれを言い切っている。さすがですね。

ことばづか
言葉遣いばかりではありません。彼女の批判は、人としてのマナー、男のマナー、女のマナーにまで及びます。たとえば、マナーに欠ける人とは、「人の家に訪れて、汚いとばかりに自分の座る場所をぱたぱたとゴミ払いをする人」「急用があるのに長話をする人」「つまらないことを満面に笑みをたたえて得意げにペラペラしゃべる人」。

『枕草子』は、清少納言といいう好奇心旺盛で斬新な考え方をする人間の存在によって初めて生み出された日本初の隨筆文学。『枕草子』を分析していくと、エッセイストの資質も浮き彫りになります。①人と違った物の見方ができる、②興味関心の幅が広い、③観察力・批判力がすぐれている。

(山口伸美『日本語の古典』岩波書店による)

清少纳言无法原谅的是本该有教养的人却在措辞上犯错。例如：雇工没有充分理解敬语的使用方法，对自己的主人不能正确地使用敬语说话的时候，还有听到对自己的行为使用了尊他语的时候，清少纳言都会生气。

此外，虽然地位高的人在场，同僚之间互相说话却用无拘束的同辈语称自己“我”，她一直都在（对这一情况进行）告诫。她认为应该进行的谈话是即便被别人听到也不会感到不愉快的谈话。“应该考虑到对方和场合还有效果，语言就是使用的东西”，这就是清少纳言的主张。那是古今海内外普遍运用语言的方式。一千年前的清少纳言已经精准地下了结论。不愧是清少纳言啊。

不光是使用语言。她的批判还涉及到了做人的礼节、男人的礼节、女人的礼节。例如：缺乏礼节的人会有如下举动：“到别人家拜访时，就好像在说不干净一样掸去座位的灰尘”、“这边有急事，对方却一直不停地说话”、“满脸笑容得意洋洋地大谈无聊的事情”。

《枕草子》是由好奇心旺盛且拥有崭新的想法的清少纳言创作完成的日本最初的随笔文学。越分析《枕草子》，随笔作家的资质就显现得越发清晰。①拥有和其他人不同的对事物的看法，②感兴趣

和关注的面很宽，③观察力和批判力超群。

单词

- * 許せない: (4, 形)无法原谅
- * 教養: (0, 名)教养；文化素养
- * 備える: (3, 他下一)准备；具备；配备；防备
- * 備わる: (3, 自五)准备好；具备；配备齐
- * 兼ね備える: (5, 他下一)兼备
- * 供える: (3, 他下一)上供
- * 供物: (1, 名)供品，贡品
- * 貢ぐ: (2, 0, 他五)(定期给钱财等)供养，养活
- * 養う: (0, 3, 他五)养；培养
- * 供養: (1, 名/他サ)上供
- * 供給: (0, 名/他サ)供给
- * ミスを犯す: (1+2)犯错
- * 罪を犯す: (1+2)犯罪
- * 償う: (3, 他五)赔偿；补偿；赎罪
- * 弁償: (0, 名/他サ)赔偿
- * 使用人: (0, 名)雇员，雇佣的人
- * 小使い: (1, 名)(学校、政府机关、公司等)打杂的人
- * 敬語: (0, 名)敬语
- * 主人: (1, 名)主人；丈夫
- * きちんと: (1, 副)整齐地；工整地；准确地
- * きっちり: (3, 副/自サ)没有空隙地；整齐地；时间和数量准确地；精准地
- * きっかけ: (3, 副)时间和数量准确地；清晰明显
- * しゃべる: (2, 他五)闲聊；话多
- * 行為: (1, 名)行为

* 尊敬語: (0, 名) 尊他语

* 谦讓語: (0, 名) 自谦语

* 丁寧語: (0, 名) 礼貌语

* 尊敬: (0, 名/他サ) 尊敬

* 谦遜: (0, 名/他サ) 谦虚

* 尊ぶ: (3, 他五) 尊崇; 尊敬; 尊重

* 敬う: (3, 他五) 敬重; 尊敬

* 謙る / 選る: (4, 0, 他五) 谦逊, 谦虚

* 腹を立てる: (2+2) 生气

* 腹立つ: (3, 自五) 生气

* 腹立たしい: (5, 形) 让人生气的

* 立腹: (0, 名/自サ) 生气

* 腹の虫が治まらない: (2+0+5) 忍无可忍

* むかつく: (0, 自五) 反胃, 恶心; 特别生气

* むかむか: (1, 副/自サ) 反胃, 恶心; 特别生气, 火冒三丈

* かつとなる: (0, 自五) 火冒三丈

* 偉い: (2, 形) 伟大的; 棒的

* お利口さん: (0, 名) 懂事听话的孩子

* 利口: (0, 名/形动) 聪明; (孩子) 懂事听话

* 大物: (0, 名) 大人物

* 小物: (0, 名) 小东西; 小人物

* 同僚: (0, 名) 同僚, 同事

* 一同事: (1, 名) ~之间

* 打ち解ける: (0, 4, 自下一) 没有戒心; 没有隔阂; 融洽

* 仲間言葉: (4, 名) 同辈和朋友之间的用语

- * 戒める: (4, 他下一) 戒; 警戒; 告诫
- * 聞き苦しい: (5, 0, 形) 听着难受
- * 効果: (1, 名) 效果
- * 古今東西: (4, 名) 古今“中”外, 古今海内外
- * 普遍的: (0, 形动) 普遍的
- * 運用: (0, 名/他サ) 运用
- * 言い切る: (3, 他五) 断言
- * 流石: (0, 副/形动) 不愧是; 的确
- * 言葉遣い: (4, 名) 措辞
- * 批判: (0, 名/他サ) 批判; 批评
- * 及ぶ: (0, 自五) 及, 涉及, 触及
- * 欠ける: (0, 自下一) 欠缺
- * ぱたぱた: (1, 拟态/副) 轻的薄的东西随风飘扬时发出的声音; 走路时的轻盈状; 快速处理事物状
- * ゴミ払い: (3, 名) 捣掉灰尘
- * ゴミを払う: (2+2) 捣掉灰尘
- * 無難: (1, 名/形动) 说得过去; 没有大问题; 平安无事
- * 追い払う: (4, 他五) 轰走(虫子等); 赶走(邪念)
- * 急用: (0, 名) 急事
- * 長話: (3, 名/自サ) 长时间说话
- * 満面に笑みを湛える: (0+1+0, 3) 满脸笑容
- * 好奇心旺盛: (3+0, 形动) 好奇心旺盛
- * 商売繁盛: (5, 形动) 商业繁盛
- * 剖新: (0, 形动) 崭新
- * 存在: (0, 名/自サ) 存在

* 存在感: (3, 名) 存在感

* 压倒的な存在感: (0+3) 超强的存在感

* 生み出す: (3, 他五) 产生出

* 日本初: (4, 名) 日本最初

* 随筆: (0, 名) 随笔

* 分析: (0, 名/他サ) 分析

* エッセイスト: (3, 名/essayist) 随笔作家

* エッセイ: (1, 名/essay) 随笔

* エッセー: (1, 名/essay) 随笔; 小论文

* 資質: (0, 名) 资质, 天资

* 素質: (0, 名) 天资; 素质, 素养

* 浮き彫り: (0, 名) 清晰明显

* 見方: (3, 2, 名) 看法

* 観察力: (4, 名) 观察力

* 批判力: (2, 名) 批判力

* 想像力: (3, 名) 想象力

* 創造力: (3, 名) 创造力